

# 野菜花き 本成績・概要カード” 記入要領

- ※ **濃い鉛筆か黒の万年筆、黒のボールペン**等を用いて**楷書体**で記入して下さい。  
(本成績書・概要書ともに、そのまま写真印刷になります)
- ※ パソコン等で作成する場合は、必ず様式を合わせて下さい。
- ※ **本成績書はA4、概要カードはA4(半分)**です。用紙の拡大、縮小はしないで下さい。
- ※ **片面印刷**で、提出して下さい。両面印刷はしないで下さい。
- ※ **ホチキス(ステープラ)でとめないでください。**とめる場合は、クリップをお願いします。
  
- ※ 農薬登録のガイドラインの整備に伴い、試験成績書に供試薬剤のロット番号を記載することが義務づけられましたので、供試したサンプルのロット番号の記載をお願いいたします。供試薬剤が製品で、ロット番号がない場合は製造番号をご記載下さい。
- ※ 非公開試験を除く、全ての成績書は、**本成績書と概要書で、1セット**です。

## 1. 除草剤 **平成 29 年度より成績書の様式を変更いたしました。**

- A. 本成績書
  - ① 作成前に「野菜・花き除草剤試験実施基準」(以下「実施基準」)をご参照下さい。
  - ② 「記入例」を参照の上、所定の用紙(2枚1組)に、ご作成下さい。
- B. 概要
  - ① 用紙記入例を参照の上、所定の用紙に、ご作成下さい。

## 2. 薬害

- A. 本成績書
  - ① 所定の用紙(2枚1組)に、ご作成下さい。
- B. 概要
  - ① 用紙記入例を参照の上、所定の用紙に、ご作成下さい。

## 3. 生育調節剤

- A. 本成績書
  - ① 「参考様式」を参照の上、A4 サイズの用紙(白紙・2枚以内)に、ご作成下さい。
  - ② 項目の配列等は、除草剤に準じて下さい。
  - ③ 適用性試験は、実用性の判定をご記載下さい。
- B. 概要
  - ① 用紙に、記入例を参照の上、要点をご作成下さい。
  - ② 調査結果欄は、目的とする効果に関連する数値を含めて本成績書より適宜選択しご記入下さい。

成績書、概要カードの枠(Word、Excel)を希望される場合

当協会ホームページ <http://www.japr.or.jp/> 内の「除草剤試験実施基準」のページにある「試験成績の用紙」より、ダウンロード出来ます。  
成績書の提出は、必ず、**プリントアウトした物を、郵送、宅配便等**でご送付下さい。**e-メールでの送信はご遠慮下さい。**

**注)パソコンにて作成の際には、文字切れ等のチェックを必ずして下さい。**

近年、パソコンで作成した成績書・概要書(特にExcel)において、所見等の文章が一部表示されていないものが増えていきます。  
提出する前に、全ての文章が表示されているかどうか、**プリントアウトした物(ディスプレイ上と異なる場合があります)で、いま一度確認をお願いいたします。**

# 記入例

平成〇〇年度 [春夏作・秋冬作] 野菜・花き関係 除草剤 試験成績書

平成29年(2017年)/3月改訂

実施年度を忘れずに書く

春夏作・秋冬作 どちらかに○をするか、どちらかを消す

送付された薬剤のボトル・袋などに記載されている番号を記入  
市販品の場合は製品番号を記入

薬剤名	ABC-123	剤型	乳	試験機関	〇〇県農業試験場
有効成分及び含有率	XXX 10%			担当者名	植調 太郎、生久 花子
ロット番号	XYZ1234	試験圃場名	場内圃場		
試験目的	***の定植前、雑草発生前における効果・葉害の検討				
圃場所在地	〇〇県〇〇市〇〇				

試験途中に担当者が異動した場合は、前任者名も併記する。

## I. 試験方法

1. 作物名(品種名): \*\*\* (\*\*\*)
2. 作型: 春播き露地移植
3. 施肥条件: 基肥 N:P:K (15:15:15) 6kg/10a
4. 耕起・整地: (方法) ロータリ耕 (時期) 平成\*\*年6月21日
5. 播種時期: 平成\*\*年6月2日
6. 定植時期: 平成\*\*年6月25日  
育苗方法及び苗の状態  
育苗 128穴1トイ  
定植時葉齢 3.5葉 草丈 9~10cm
7. 試験規模: 1区 10 m<sup>2</sup>、(2m×5m)、3反復
8. 栽植様式: 1区あたり うね幅〇cm、△条、株間〇cm、畦間×cm
9. 栽植密度: 20株/m<sup>2</sup>
10. 無処理区の雑草発生前状況:

雑草名	均一性	発生時期	その他
ヒビ	均一	6月25日	
ヒビ	不均一	6月28日	
スベリ	均一	6月26日	
ソバ	均一	6月26日	
イモ	不均一	6月27日	

## 11. 土壌条件

土質・土性	腐植含量	pH(H <sub>2</sub> O)	処理時の土壌の乾湿	圃場の種類
洪積堆積土	5.7%	5.6	適湿	一般畑

## 12. 処理前後の気象状況(\*: 処理日)

観測地点: 〇〇市アメダス

月日	6/17	18	19	20	21	* 22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1	2
最高気温(°C)	28.7	23.0	27.3	25.7	22.5	24.0	26.8	26.4	23.7	22.6	29.2	29.1	31.0	29.0	27.4	26.6
最低気温(°C)	20.2	17.3	17.4	19.2	19.9	20.1	19.9	20.1	19.8	20.7	20.5	22.0	21.9	23.2	20.7	21.2
降水量(mm)	9	2				4					15			20		
日照時間(h)	0.3	5	10	8.1	6.4	0.1	1.5	6.4	2.4	5.1						4

雑草調査後の一般管理の方法、体系処理の前処理区を無処理とした等、記入欄のない実施事項を記入する

## 13. 試験条件に関する事項

病害、災害、気象条件等: 処理日の降雨は、未明から早朝にかけてのモロモロ。

栽培管理等: ヒビ、イモは耕起後土壌表面に種子を播き、2~3cmの深さに混和した。

耕起前処理の除草剤は使用せず、試験終了後、m<sup>2</sup>当たりの場合は単位をmに修正する 取り除草した。

## 14. 試験区の構成

試験区番号	薬剤名・剤型	処理年月日	処理時の作物の状態	処理時の雑草の状態	薬量(/10a)	水量(/10a)	処理方法	備考
1.	無処理区							散布器の機種
2.	完全除草区	(管理: 7/10, 7/30 に手取り除草した)						肩掛け手押し 散布ノズル リカバシ 飛散防止カバー
3.	ABC-123 乳		定植前	雑草発生前	200mL	50L	土壌処理 (全面)	無 展着剤有無
4.	対象薬剤は商品名を省略しない	H**/ 6/22	作物がある場合は葉齢等を記入	雑草生育時の処理は、各雑草の葉齢草丈等を記入	200mL	100L		
5.					400mL	50L		
6.	対) DEF 乳剤	〃			500mL	100L	〃	無

## II. 試験結果

生・乾 どちらかを必ず記入

### 1. 雑草調査 (無除草区は実数/m<sup>2</sup>、処理区は対無除草区比%)

生体重・乾物重 [調査日: H\*\*/7/30(処理後 38日)]

試験区番号	一年生仔科			一年生非仔科			他*	総計
	ヒビ	ヒビ	ソバ	スベリ	ソバ	イモ		
1. (無)	206本 128g	13本 3g	7本 2g	77本 38g	15本 6g	3本 0.3g	5本 0.2g	326本 177.5g
3.	6%	3%	0%	1%	8%	3%	35%	9%
4.	5	0	0	0	6	2	19	5
5.	0	0	0	0	0	0	1	t
6.								
7. (対)	0	0	0	0	1	2	17	t
効果の高い草種	ヒビ、ヒビ、ソバ、スベリ、ソバ							
効果の低い草種	「t」: 無処理区対比 1%未満							

\*: ソバ 4本、ソバ 1本

2. 葉害調査

試験区番号	葉害程度	葉害症状	葉害発現時期	葉害回復時期	収量に対する影響の有無
3.	無 微 小	無 草丈抑制 生育遅延、茎葉の黄化	H**/7/8 H**/7/6	H**/7/30 H**/8/12	無 無
4.					
5.					
6.					
7. (対)	無	無			

有・無 どちらかに○を  
するか、どちらかを消す

3. 作物調査 (発芽・生育状況、品質、収量等)

※雑草調査後の雑草防除 (有)・無

試験区番号	調査事項				収量	
	調査日: H**/8/3	調査日: H**/8/3	調査日:	調査日:	収穫日(期間): H**/9/3~17	
	草丈	葉数			kg/10a	%
2. (完)	38cm	6.7			457	100
3.	37	6.8			460	101
4.	33	6.5			445	97
5.	28	5.7			443	97
6.						
7. (対)	39	6.7			449	98

収穫調査日または  
期間を記入

4. 総合評価

試験区番号	薬剤名・剤型	処理時期	薬量<水量>/10a	効果最大注1)	抑草期間注1)	除草効果注2)	葉害程度	評点	判定
3.	ABC-123 乳	定植前 雑草発生前	200mL<50L>		20 日	9	無	A0	○
4.			200mL<100L>		30 日	5	微	A0	○
5.			400mL<50L>		35 日	0	小	B1	△
6.									
7. (対)	DEF 乳剤	同上	500mL<100L>		30 日	t	無	A0	

注1) 土壌処理の場合は抑草期間を、茎葉処理の場合は効果が最大に現れるまでの期間を記入

注2) 雑草調査総計の無処理区対比(%)を記入

III. 考察

- 除草効果** : 200mL<50L>区ではやや抑草期間が短いものの、発生した雑草は生育が強く抑制された。200mL<100L>、400mL<50L>では、30~35 日間雑草の発生はみられなかった。刈刈はいずれの処理区でも残存した。
- 作物への影響** : 定植後 10 日目より 200mL<100L>、400mL<50L>区において生育抑制がみられた。200mL<100L>区は約 20 日程で回復し、収量への影響はみられなかった。400mL<50L>区では下位葉がやや黄化し、生育が抑制されている期間が長かったものの収量への影響はなかった。
- 判定理由** : 200mL/10a の薬量は、除草効果が高く、葉害も軽微なので実用化可能と判定した。400mL/10a については、葉害程度が一時的にやや強く発現し、回復も遅かったため継続検討と判定した。
- 参考事項等** :

散布水量も忘れずに

5. 実用化に対する使用基準 (「○」と判定され、実用化可能と思われる剤について記入)

作 型	対象雑草	処理時期	使用量<水量>(10a)	処理方法	使用上の注意
春播き 露地移植	一年生雑草	定植前 雑草発生前	200mL <50~100L>	土壌処理 (全面)	

# 記入例

平成〇〇年度 [春夏作・秋冬作] 野菜・花き関係除草剤 薬害試験 成績書

平成 29 年(2017 年)/3月改訂

実施年度を忘れずに書く

春夏作・秋冬作 どちらかに○を  
するか、どちらかを消す

送付された薬剤のボトル・袋などに  
記載されている番号を記入  
市販品の場合は製品番号を記入

試験途中で担当  
者が異動した場  
合は、前任者名も  
併記する。

薬剤名	DEF-456	剤型	液	試験機関	〇〇県農業試験場
有効成分 及び含有率	XXX 20%			担当者名	植調 太郎、生久 花子
ロット番号	XYZ5678	試験圃場名	場内圃場		
		圃場所在地	〇〇県〇〇市●●		

試験目的：\*\*\*の播種直前処理における薬害の確認

## I. 試験方法

1. 作物名(品種名)：\*\*\* (\*\*\*)
2. 作 型：夏播 露地移植
3. 施肥条件：基肥 N:P:K (15:15:15) 6kg/10a
4. 耕起・整地：(方法) ロータリ耕  
(時期) 平成\*\*年 8 月 25 日
5. 播種時期：平成\*\*年 8 月 28 日  
実施年を忘れずに書く
6. 定植時期：平成\*\*年 月 日  
育苗方法及び苗の状態
7. 試験規模：1区 10 m<sup>2</sup>、(2m×5m)、3 反復
8. 栽植様式：
9. 栽植密度：20 株/m<sup>2</sup>

## 10. 土壌条件

土質・土性	腐植含量	pH(H <sub>2</sub> O)	処理時の土壌の乾湿	圃場の種類
洪積埴壌土	5.7%	5.6	適湿	一般畑

## 11. 処理前後の気象状況(\*：処理日) 観測地点：〇〇市アメダス

月 日					*									
最高気温(℃)														
最低気温(℃)														
降水量(mm)														
日照時間(h)														

## 12. 試験条件に関する事項

病害, 災害, 気象条件等： .....

栽培管理等： .....

## 13. 試験区の構成

試験区 番号	薬剤名・剤型	処理年月日	処理時の 作物の状態	処理時の 雑草の状態	薬量 (/10a)	水量 (/10a)	処理方法	備考
1.	完全除草区	(管理： )						散布器の機種
2.								散布ノズル
3.								飛散防止カバー
4.								展着剤有無
5.								
6.	対)							

## II. 試験結果

基準に従い、無・微・小・中・大の 5 段階で評価を行う

### 1. 薬害調査

試験区 番号	薬害程度	薬害症状	薬害 発現時期	薬害 回復時期	収量に対する 影響の有無
2.					
3.					
4.					
5.					
6. (対)					

2. 作物調査 (発芽・生育状況、品質、収量等)

試験区 番号	薬剤名	薬量 <水量> /10a	調査事項			
			調査日:		調査日:	
1.	完全除草区					
2.						
3.						
4.						
5.						
6.	対)					

試験区 番号	調査事項		収量		備考
	調査日:		収穫日(期間):		
			kg/10a	%	
1. (完)				100	
2.					
3.					
4.					
5.					
6. (対)					

III. 考察

1. 作物への影響 : \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
2. 今後の検討事項等 : \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_